

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年12月24日 (2015.12.24)

【公開番号】特開2014-93988(P2014-93988A)

【公開日】平成26年5月22日 (2014.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-027

【出願番号】特願2012-248320(P2012-248320)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月10日 (2015.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器内の固相担体を操作する固相担体の操作装置であって、  
長手方向を有し液体が充填された容器を装着する装着部と、  
前記固相単体に対して磁力を印加する磁力印加部と、  
前記磁力印加部と前記容器との相対的な位置を、前記長手方向、前記長手方向に交わる  
方向、または前記長手方向と前記長手方向に交わる方向を合成した方向に変位させる、駆  
動部と、を備える固相担体の操作装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の固相担体の操作装置において、  
前記磁力印加部は、永久磁石を含むことを特徴とする固相担体の操作装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の固相担体の操作装置において、  
前記磁力印加部は、対向して配置された永久磁石を含むことを特徴とする固相担体の操  
作装置。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の固相担体の操作装置において、  
前記磁力印加部は、3 以上の永久磁石を含むことを特徴とする固相担体の操作装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の固相担体の操作装置において、  
前記容器は、チューブであり、  
前記チューブには、オイル、オイルとは混和しない洗浄液、オイル、オイルとは混和し  
ない溶出液、オイルが、前記順に充填されている、固相担体の操作装置。

【請求項 6】

長手方向を有し液体が充填された容器内において、磁性を有する固相担体を操作する固  
相担体の操作方法であって、  
前記固相担体に磁力を印加する磁力印加部と前記容器との相対的な位置を、前記長手方  
向、前記長手方向に交わる方向、または前記長手方向と前記長手方向に交わる方向を合成  
した方向に変位させることで、前記固相担体と前記容器との相対的な位置を経時的に変位  
させることを特徴とする固相担体の操作方法。

## 【請求項 7】

請求項 6 に記載の固相担体の操作方法において、  
前記磁力印加部は、少なくとも一つの永久磁石を有することを特徴とする固相担体の操作方法。

## 【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載の固相担体の操作方法において、  
前記磁力印加部が前記容器周面の第 1 領域に近づくステップ、  
前記磁力印加部が前記第 1 領域から遠ざかるステップ、  
前記磁力印加部が前記容器周面の前記第 1 領域とは異なる第 2 領域に近づくステップ、  
を有する固相担体の操作方法。

## 【請求項 9】

請求項 6 ～ 8 のいずれか一項に記載の固相担体の操作方法において、  
前記磁力印加部は、対向して配置された永久磁石を含む、固相担体の操作方法。

## 【請求項 10】

請求項 6 ～ 9 のいずれか一項に記載の固相担体の操作方法において、  
前記磁力印加部と前記容器とが相対的に回転する固相担体の操作方法。

## 【請求項 11】

請求項 6 ～ 9 のいずれか一項に記載の固相担体の操作方法において、  
前記磁力印加部は、永久磁石を 3 以上備え、前記容器と前記永久磁石との位置が相対的に変位することを特徴とする固相担体の操作方法。